

血液製剤による 『C型肝炎救済のための 調査研究及び安全対策等に関する研究』 公開報告会

過去に、妊娠中や出産時の大量出血、手術での大量出血をした方の中には、特定の血液製剤の投与を受けたことにより、C型肝炎ウイルスに感染した方がいらっしゃいます。この特定の血液製剤の投与による感染被害者の方に対し、「C型肝炎特別措置法」に基づき給付金の支給がおこなわれています。給付金の支給を受けるには、平成30年1月15日までに国に対して訴訟の提起をすることが必要です。

このような状況の中、特別措置法の対象者を救済するための実態把握と、血液製剤の更なる安全性の向上に資する成果を得ることを目指した研究班が、平成27年度に組織されました。

平成27年度には、1次調査として、C型肝炎に持続感染した方を対象に、①C型肝炎の感染経路の実態、②フィブリノゲン等の血液製剤でC型肝炎に感染した方の実態に関するアンケート調査を実施しました。

平成28年度から29年度にかけては、2次調査として、当時の診療録（カルテ）またはそれに代わる書類を探すのに際してご利用いただける資料を作成するとともに、妊娠・出産時、新生児期、大量出血などの治療時に輸血・血液製剤の投与を受けた方を対象に実態調査を実施しています。

当研究班ではこのような調査研究を遂行することにより、特別措置法の対象者を救済するための感染実態の把握を一層進め、また、血液製剤の更なる安全性の向上に資する成果を得ることを目指しています。

今回、これまでの成果やこれからの予定を広く皆様に知っていただくために、公開報告会を開催いたします。

日時 2017年**12月16日（土）** 13:00～15:00（開場 12:30）

会場 **TKP札幌ホワイトビルカンファレンスセンター ホール2B**
（2階） 北海道札幌市中央区北4条西7丁目1-5

定員 150名（参加費無料・申込み不要）

～ プログラム ～

司会：正木 尚彦（国立国際医療研究センター）

13:00-13:05	開会挨拶	山口 照英（日本薬科大学）
13:05-13:20	1次調査結果報告	八橋 弘（国立病院機構長崎医療センター）
13:20-13:45	2次調査の進め方について	八橋 弘（国立病院機構長崎医療センター）
13:45-14:05	血液製剤について	岡田 義昭（埼玉医科大学）
14:05-14:15	休憩	
14:15-14:55	質疑応答	
14:55-15:00	閉会挨拶	山口 照英（日本薬科大学）

TKP札幌ホワイトビルカンファレンスセンターのご案内



【所在地】

〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西7丁目1-5

NCO札幌ホワイトビル 2階・4階・6階

【アクセス】

- ・JR函館本線 札幌駅 南口から 徒歩5分
- ・札幌市営南北線 さっぽろ駅から 徒歩5分

※会場周辺には有料駐車場があります。

(座席に限りがありますので、ご着席いただけない場合があります。)

【お問合せ先】

国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター

T E L : 0957-46-3003 受付: 平日9時~15時

F A X : 0957-53-6675 M A I L : chosak@nagasaki-mc.com